

平成26年度 福島県教育旅行入込調査報告書 (詳細版)



平成27年10月9日
福島県観光交流局観光交流課

目 次

1	はじめに	1
2	県内・県外別の教育旅行入込数の推移について	2
3	都道府県別の教育旅行入込数の推移について	4
4	月別・学齢別の教育旅行入込数について	8
5	県内エリア別の教育旅行入込数の推移について	10
6	おわりに	11

1 はじめに

平成10年度から実施している福島県教育旅行入込調査は、今年度で17年目を迎えました。

福島県ではこれまで、会津地方を中心とした歴史学習や豊かな自然環境を生かした体験学習などを推進し、延べ宿泊者数で年間70万人を超える子どもたちを受け入れてきました。しかし、平成23年3月の東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による風評などの影響により、平成23年度は約13万人まで減少しました。平成26年度は約35万人と震災前の半数まで回復しましたが、本県の教育旅行を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

本報告書では、平成27年8月28日付けで公開した本県の教育旅行入込調査結果について、過去6年度の県内・県外別の入込数の推移、福島県への来県が多い主要都道府県別の入込数の推移、月別・学齢別の入込数、県内エリア別の入込数の推移から分析を行うことで、本県教育旅行の実態把握と今後の効果的な取り組みへ繋げていくための基礎資料として作成しました。

調査概要

- 1 調査対象期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日
- 2 調査方法：アンケート方式
- 3 対象施設・団体：600件（民間施設：567件、公営施設：33件）
- 4 回答率：72.5%（民間施設：409件、公営施設：26件）
- 5 調査団体
教育旅行（修学旅行、林間学校、臨海学校、スポーツ合宿、クラブ合宿、オリエンテーション、子ども農山漁村交流プロジェクト等、学校主催で実施した旅行）を目的に福島県内で宿泊した小学生から大学生までの延べ宿泊者数及び学校・団体数
※福島県内の小・中学校を対象とした「ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業（以降、ふくしまっ子事業という）を利用した団体については、これまで本調査の対象から除いてきたが、教育課程に位置付けられた宿泊を伴う自然体験活動など、本調査の対象となる延べ宿泊者数及び学校数について精査が出来たことから参考値として掲載。
- 6 調査実施主体：福島県観光交流局観光交流課
- 7 調査協力：公益財団法人福島県観光物産交流協会

2 県内・県外別の教育旅行入込数の推移について

平成 26 年度の福島県内の学校における入込数は、前年度の平成 25 年度と比較し、延べ宿泊者数については 6.4%減、学校数については 2.2%減となっています。

また、震災前の平成 21 年度と比較して、延べ宿泊者数については 64.3%、学校数については 77.3% まで回復していますが、平成 23 年度に創設された「ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業」のうち、当調査に該当する人数・学校数を含めた参考値で比較すると、それぞれ、88.6%、94.0%まで回復しており、県内の入込数については、年度ごとの若干の変動はあるものの、概ね震災前の水準に戻ってきていると言えます。

一方、平成 26 年度の福島県外の学校における入込数については、前年度の平成 25 年度と比較し、延べ宿泊者数については 18.3%増、学校数については 20.8%増となっています。

これは、震災前の平成 21 年度と比較して、延べ宿泊者数については 45.3%、学校数については 58.0%の回復となっています。

延べ宿泊者数についてはいまだ半数に届いていない状況ではありますが、学校数については震災前の 60%近くまで回復しており、回復の速度は緩やかになりつつあるものの、年々着実な回復傾向が見て取れます。

※本県の教育旅行入込数の回復割合については、平成 22 年度調査数値が震災直後に集計を行っており、数値について若干精度を欠く部分もあるため、平成 21 年度と比較して計上を行っています。

表 1 教育旅行延べ宿泊者数の推移

(単位：人泊)

年度	県内	県内 伸び率	県内 平成21年度比	県外	県外 伸び率	県外 平成21年度比	合計	伸び率	平成21年度比
平成21年度	153,727			556,205			709,932	▲2.4%	
平成22年度	164,481	7.0%	107.0%	509,431	▲8.4%	91.6%	673,912	▲5.1%	94.9%
平成23年度	53,746 (69,922)	▲67.3% (▲57.5%)	35.0% (45.5%)	78,699	▲84.6%	14.1%	132,445 (148,621)	▲80.3% (▲77.9%)	18.7% (20.9%)
平成24年度	90,485 (132,250)	68.4% (89.1%)	58.9% (86.0%)	149,663	90.2%	26.9%	240,148 (281,913)	81.3% (89.7%)	33.8% (39.7%)
平成25年度	105,647 (142,915)	16.8% (8.1%)	68.7% (93.0%)	212,971	42.3%	38.3%	318,618 (355,886)	32.7% (26.2%)	44.9% (50.1%)
平成26年度	98,854 (136,227)	▲6.4% (▲4.7%)	64.3% (88.6%)	251,850	18.3%	45.3%	350,704 (388,077)	10.1% (9.0%)	49.4% (54.7%)

※平成 22 年度については、参考値となります。

※年度下段は「ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業」のうち、当調査に該当する延べ宿泊者数を含みます。

表 2 教育旅行学校数の推移

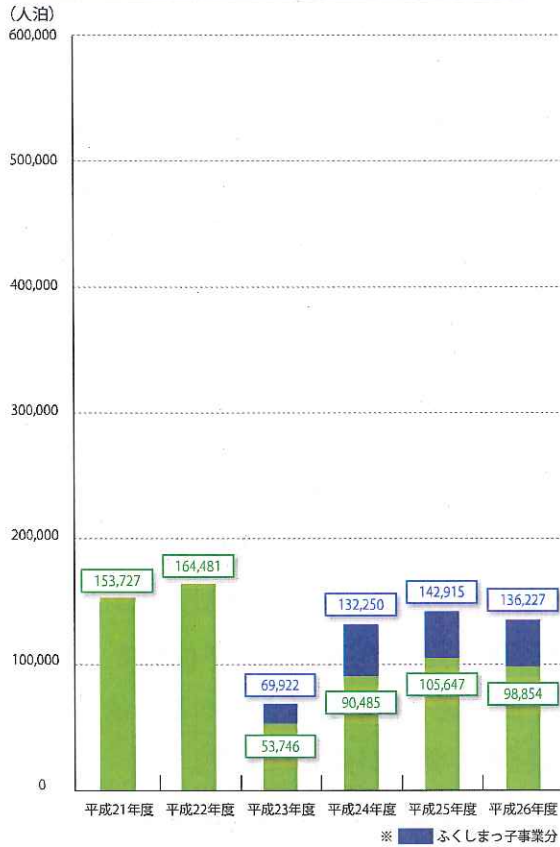
(単位：校)

年度	県内	県内 伸び率	県内 平成21年度比	県外	県外 伸び率	県外 平成21年度比	合計	伸び率	平成21年度比
平成21年度	3,141			4,779			7,920	0.7%	
平成22年度	3,266	4.0%	104.0%	4,381	▲8.3%	91.7%	7,647	▲3.4%	96.6%
平成23年度	1,322 (1,499)	▲59.5% (▲54.1%)	42.1% (47.7%)	760	▲82.7%	15.9%	2,082 (2,259)	▲72.8% (▲70.5%)	26.3% (28.5%)
平成24年度	2,450 (2,975)	85.3% (98.5%)	78.0% (94.7%)	1,592	109.5%	33.3%	4,042 (4,567)	94.1% (102.2%)	51.0% (57.7%)
平成25年度	2,483 (2,969)	1.3% (▲0.2%)	79.1% (94.5%)	2,293	44.0%	48.0%	4,776 (5,262)	18.2% (15.2%)	60.3% (66.4%)
平成26年度	2,429 (2,951)	▲2.2% (▲0.6%)	77.3% (94.0%)	2,770	20.8%	58.0%	5,199 (5,721)	8.9% (8.7%)	65.6% (72.2%)

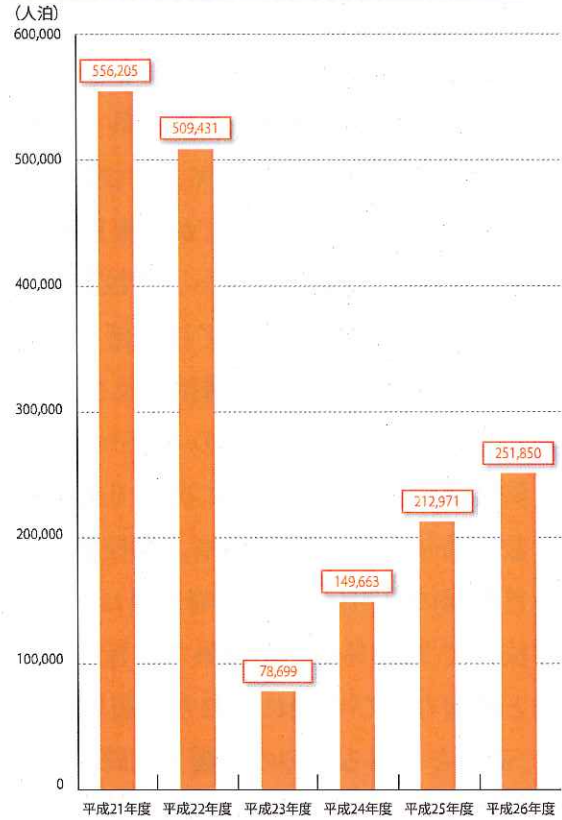
※平成 22 年度については、参考値となります。

※年度下段は「ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業」のうち、当調査に該当する学校数を含みます。

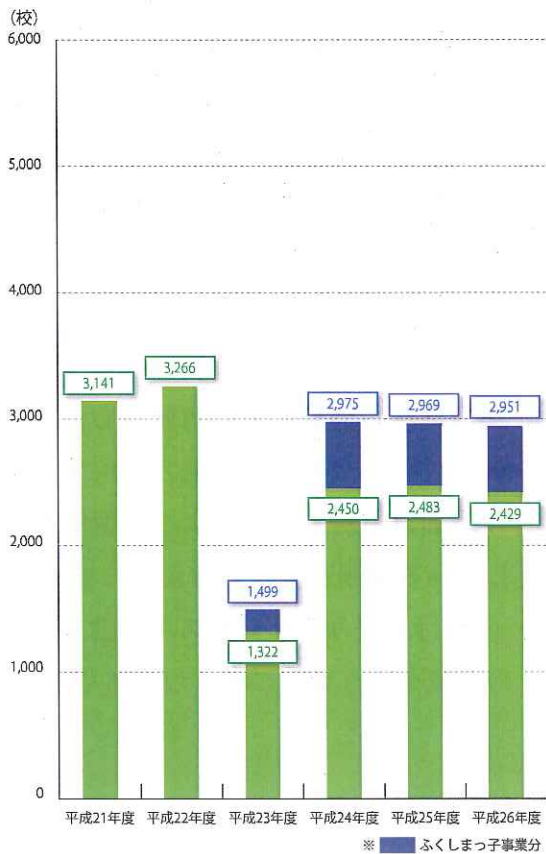
グラフ1 県内の延べ宿泊者数の推移



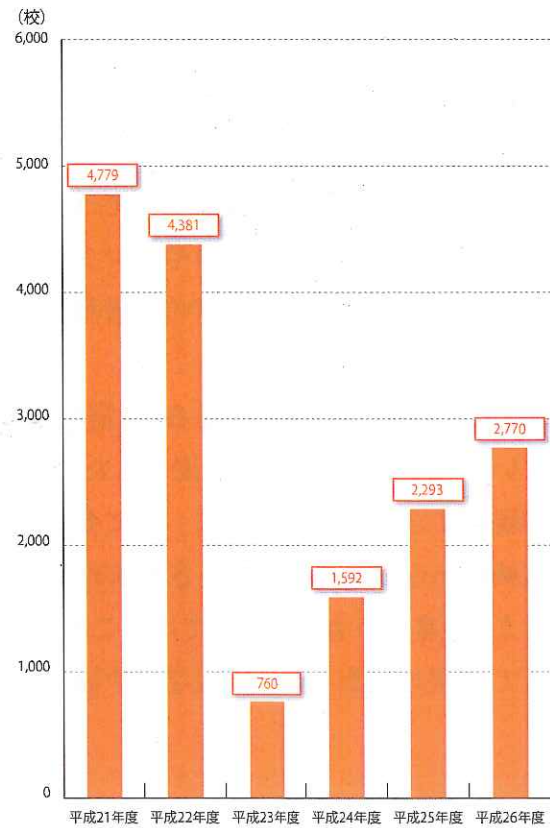
グラフ2 県外の延べ宿泊者数の推移



グラフ3 県内の学校数の推移



グラフ4 県外の学校数の推移



3 都道府県別の教育旅行入込数の推移について

福島県で教育旅行を実施する学校について所在都道府県別に見ると、費用面や移動時間などの理由から、隣接する宮城県・山形県・新潟県・茨城県・栃木県からの来県が多く延べ宿泊者数で全体の21.0%、学校数で全体の20.1%を占めています。また、首都圏からの交通アクセスの良さなどから東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県からの来県も多く、延べ宿泊者数で全体の34.4%、学校数で全体の17.7%を占めています。

福島県内の学校については、延べ宿泊者数で全体の28.2%、学校数で全体の46.7%を占めており、福島県内と隣接県及び首都圏からの来県を合算すると、延べ宿泊者数で全体の83.5%、学校数で全体の84.5%を占めています。

隣接県の中で、茨城県に次いで来県の多い宮城県については、平成26年度の延べ宿泊者数が前年と比べ35.3%増、学校数で35.1%増と顕著な回復が見られます。

首都圏の自治体のうち、埼玉県は平成26年度の延べ宿泊者数が前年度と比べ21.1%増、学校数で22.3%増、千葉県では延べ宿泊者数が前年度と比べ86.2%増、学校数で73.3%増と顕著な伸びが現れており、震災前の平成21年度の延べ宿泊者数と比べると依然として50%を下回るものの、震災以降、毎年度着実な回復の動きが見られます。

九州地区からの教育旅行は、震災直後に激減していましたが、平成25年度から回復の動きが顕著となり、平成26年度の延べ宿泊者数が前年度と比べ33.3%増、学校数が16.7%増となっているほか、震災前の平成21年度と比べても、延べ宿泊者数で66.3%、学校数で107.7%の水準まで回復しています。

東海、近畿など、その他の地域については、震災前から移動時間や交通費等の理由から福島県で教育旅行を実施する学校が比較的少ない地域であったものの、徐々に回復の傾向が見られます。

このように県外の入込数については、本県がこれまで取り組んで来た各学校を直接訪問する教育旅行誘致キャラバンやパンフレットの配布、校長会等での説明等による本県の魅力と正確な情報の発信、合宿の助成制度枠の拡大などの効果も含め、全体として着実な回復傾向が現れてきています。

その中でも特徴的な例を見ると、宮城県については、震災前から福島県で教育旅行を実施していた小学校が、震災後に変更した旅行先を従来の修学旅行先である会津地方に戻す傾向が現れてきているとともに、特に会津若松市内で行う班別自主研修などによる学習効果や宮城県からのアクセスの良さを求めて旅行先を変更している事例が多いと考えられます。

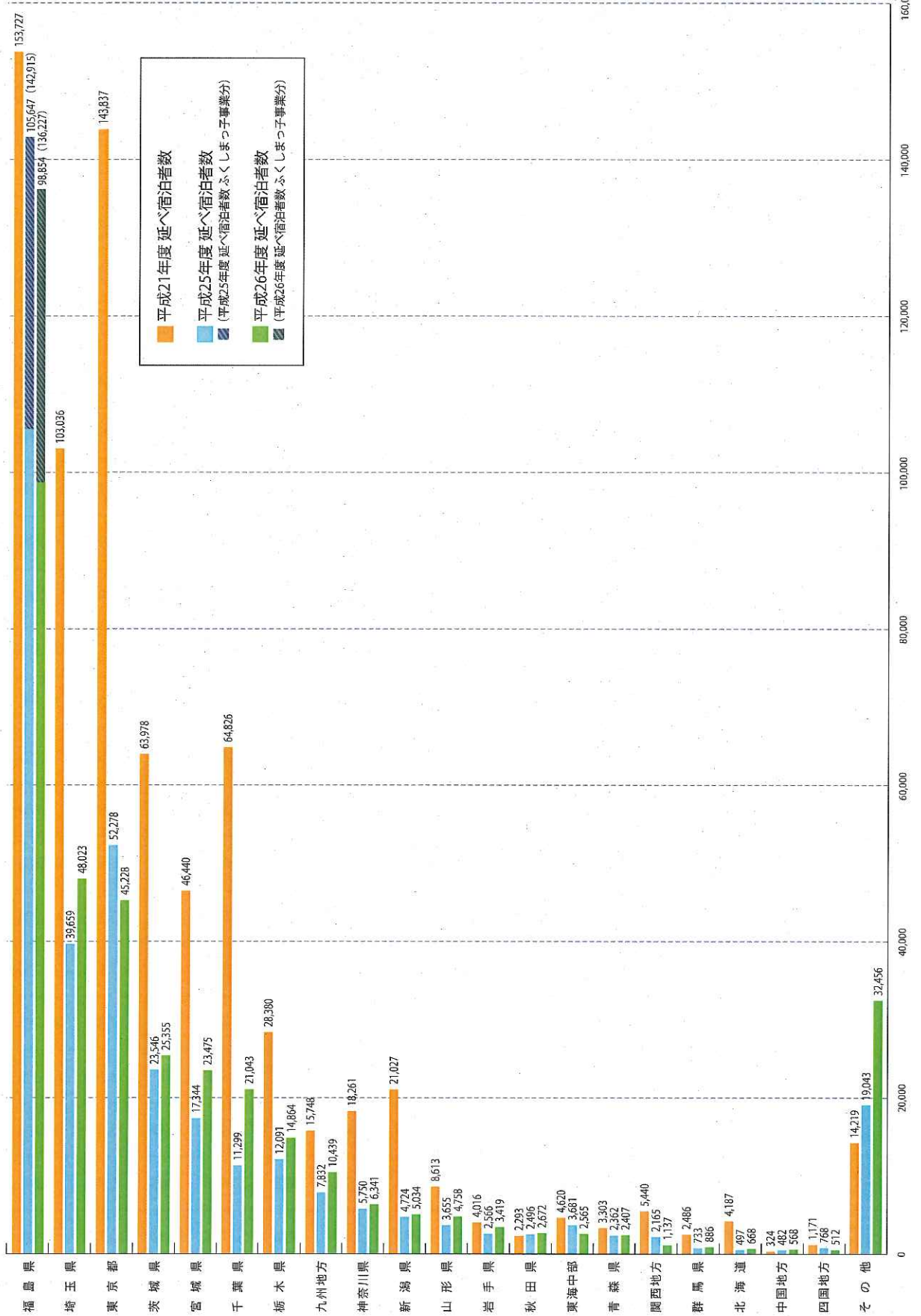
また、遠方の地域については、これまでの首都圏への旅行と組み合わせたスキー教室に加えて、被災地視察などの震災学習や福島県内の学校との交流を行う事例が増えつつあります。

表 3

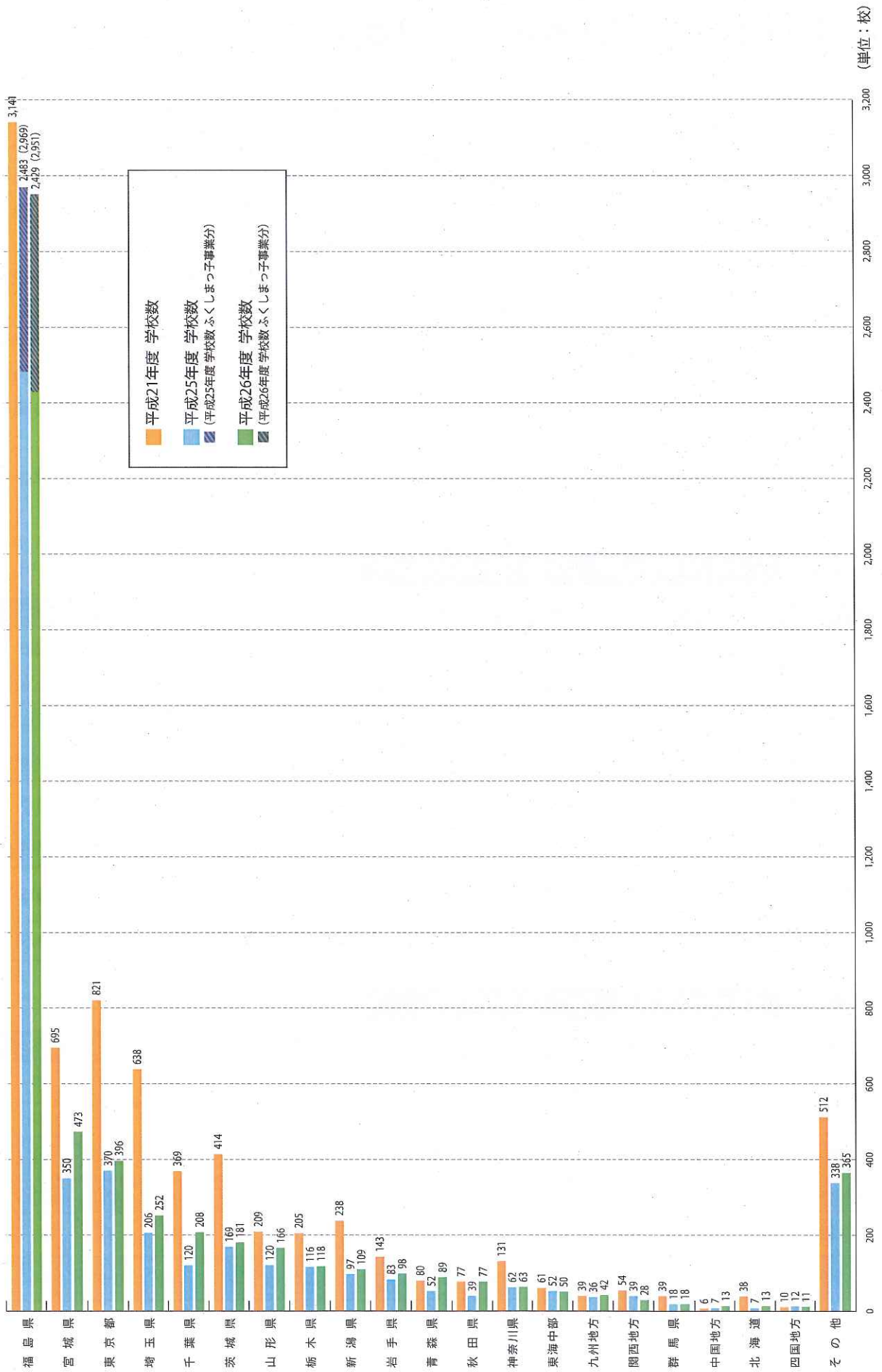
都道府県別入込数一覧

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		対前年比 伸び率		平成21年度 / 平成26年度比	
	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数
北海道	4,187	38	2,856	36	0	0	288	8	497	7	668	13	34.4%	85.7%	16.0%	34.2%
青森県	3,303	80	1,515	43	185	8	1,590	44	2,362	52	2,407	89	1.9%	71.2%	72.9%	111.3%
岩手県	4,016	143	3,008	106	414	28	2,151	78	2,566	83	3,419	98	33.2%	18.1%	85.1%	68.5%
宮城県	46,440	695	37,875	563	6,156	99	12,791	252	17,344	350	23,475	473	35.3%	35.1%	50.5%	68.1%
秋田県	2,293	77	1,783	55	489	19	1,271	51	2,496	39	2,672	77	7.1%	97.4%	116.5%	100.0%
山形県	8,613	209	5,627	164	1,146	47	3,574	122	3,655	120	4,758	166	30.2%	38.3%	55.2%	79.4%
福島県	153,727	3,141	164,481	3,266	53,746	1,322	90,485	2,450	105,647	2,483	98,854	2,429	▲ 6.4%	▲ 2.2%	64.3%	77.3%
(ふくしまっ子事業含む)					(69,922)	(1,499)	(132,250)	(2,975)	(142,915)	(2,969)	(136,227)	(2,951)	(▲ 4.7%)	(▲ 0.6%)	(88.6%)	(94.0%)
茨城県	63,978	414	67,517	394	6,407	61	20,650	160	23,546	169	25,355	181	7.7%	7.1%	39.6%	43.7%
栃木県	28,380	205	28,106	195	5,625	50	8,709	109	12,091	116	14,864	118	22.9%	1.7%	52.4%	57.6%
群馬県	2,486	39	2,131	39	132	6	491	13	733	18	886	18	20.9%	0.0%	35.6%	46.2%
埼玉県	103,036	638	74,435	462	33,472	139	37,581	193	39,659	206	48,023	252	21.1%	22.3%	46.6%	39.5%
千葉県	64,826	369	62,029	388	4,082	40	9,724	92	11,299	120	21,043	208	86.2%	73.3%	32.5%	56.4%
東京都	143,837	821	132,331	897	15,046	105	32,275	258	52,278	370	45,228	396	▲ 13.5%	7.0%	31.4%	48.2%
神奈川県	18,261	131	18,210	138	1,249	13	3,406	48	5,750	62	6,341	63	10.3%	1.6%	34.7%	48.1%
新潟県	21,027	238	18,388	216	1,593	39	2,909	59	4,724	97	5,034	109	6.6%	12.4%	23.9%	45.8%
東海地方 中部地方	4,620	61	3,793	56	860	42	1,946	39	3,681	52	2,565	50	▲ 30.3%	▲ 3.8%	55.5%	82.0%
近畿地方	5,440	54	4,807	35	360	19	1,231	21	2,165	39	1,137	28	▲ 47.5%	▲ 28.2%	20.9%	51.9%
中国地方	324	6	512	11	86	6	309	7	482	7	568	13	17.8%	85.7%	175.3%	216.7%
四国地方	1,171	10	686	5	8	1	48	2	768	12	512	11	▲ 33.3%	▲ 8.3%	43.7%	110.0%
九州地方 沖縄地方	15,748	39	17,446	42	256	23	293	5	7,832	36	10,439	42	33.3%	16.7%	66.3%	107.7%
その他	14,219	512	26,376	536	1,133	15	8,426	31	19,043	338	32,456	365	70.4%	8.0%	228.3%	71.3%
合計	709,932	7,920	673,912	7,647	132,445	2,082	240,148	4,042	318,618	4,776	350,704	5,199	10.1%	8.9%	49.4%	65.6%
(ふくしまっ子事業含む)					(148,621)	(2,259)	(281,913)	(4,567)	(355,886)	(5,262)	(388,077)	(5,721)	(9.0%)	(8.7%)	(54.7%)	(72.2%)

グラフ5 平成21年度と直近2年間の延べ宿泊者数比較



グラフ6 平成21年度と直近2年間の学校数比較



4 月別・学齢別の教育旅行入込数について

本県での教育旅行については、全国で3番目の県土面積と多様な気候風土をいかし、様々な体験学習を行うことができるのが特徴であり、春から夏にかけてのシーズンを中心に、小学生から大学生まで多様な需要に対応した教育旅行の受け入れを行っています。

そのうち、小学校については移動時間の少ない隣接県や首都圏を中心に来県が多く、春から夏にかけて1泊2日程度の行程で実施する修学旅行や林間学校等が中心となっています。

中学校については、小学校と同様に関東圏を中心に2泊3日程度の修学旅行や林間学校での来県が多く、加えて、冬期間のスキー教室での来県が多いのが特徴となっています。

高等学校については、夏休み期間の入込数が多く、隣接県や首都圏を中心とした林間学校やスポーツ・文化系合宿、各種大会等での来県が多くなっています。なお冬期間は、本県の首都圏からのアクセスの良さを生かし、首都圏の観光にスキー教室を組み合わせた行程での来県が九州地区を中心に多くなっています。

大学については、夏休みにあわせた部活動・サークル等の合宿が多く見られ、その他、冬休みにあわせたスキー合宿などで来県する学校も多くなっています。

表4 平成26年度 月別・学齢別延べ宿泊者数

(単位：人泊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小学生	195	5,037	19,156	14,174	6,156	16,077	10,714	1,349	1,062	3,267	3,037	825	81,049
(ふくしまっ子事業含む)	(231)	(6,751)	(31,015)	(18,350)	(6,653)	(26,020)	(16,708)	(1,772)	(1,062)	(3,893)	(3,689)	(825)	(116,969)
中学生	3,343	17,851	9,219	8,063	8,956	5,158	2,471	2,167	2,597	24,973	18,365	6,499	109,662
(ふくしまっ子事業含む)	(3,433)	(17,851)	(9,577)	(8,429)	(9,090)	(5,255)	(2,493)	(2,306)	(2,659)	(25,000)	(18,523)	(6,499)	(111,115)
高校生	9,395	9,222	5,814	18,945	25,175	6,990	4,855	4,117	5,891	10,118	7,481	7,135	115,138
大学生	6,009	1,888	2,170	3,033	14,942	8,061	1,220	521	903	503	2,449	3,156	44,855
合計	18,942	33,998	36,359	44,215	55,229	36,286	19,260	8,154	10,453	38,861	31,332	17,615	350,704
(ふくしまっ子事業含む)	(19,068)	(35,712)	(48,576)	(48,757)	(55,860)	(46,326)	(25,276)	(8,716)	(10,515)	(39,514)	(32,142)	(17,615)	(388,077)

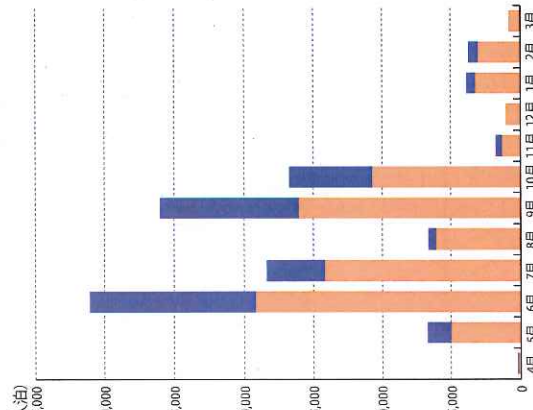
表5 平成26年度 月別・学齢別学校数

(単位：校)

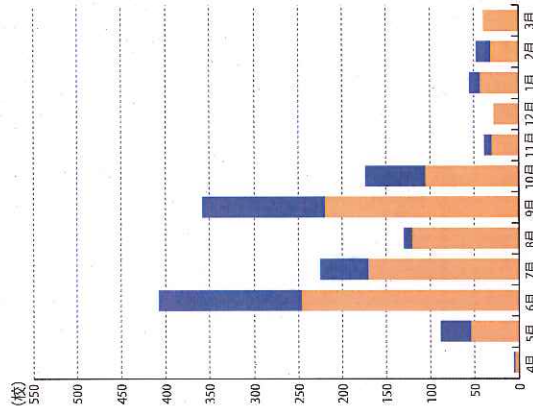
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小学生	5	54	247	170	121	220	106	31	28	43	32	39	1,096
(ふくしまっ子事業含む)	(6)	(88)	(408)	(225)	(130)	(358)	(173)	(38)	(28)	(55)	(47)	(39)	(1,595)
中学生	41	150	65	193	212	50	51	56	46	126	91	72	1,153
(ふくしまっ子事業含む)	(42)	(150)	(69)	(200)	(213)	(54)	(52)	(58)	(47)	(127)	(92)	(72)	(1,176)
高校生	75	221	194	322	521	257	147	111	116	142	93	185	2,384
大学生	30	34	24	28	138	120	20	20	18	11	59	64	566
合計	151	459	530	713	992	647	324	218	208	322	275	360	5,199
(ふくしまっ子事業含む)	(153)	(493)	(695)	(775)	(1,002)	(789)	(392)	(227)	(209)	(335)	(291)	(360)	(5,721)

平成26年度 各学齢別入込数

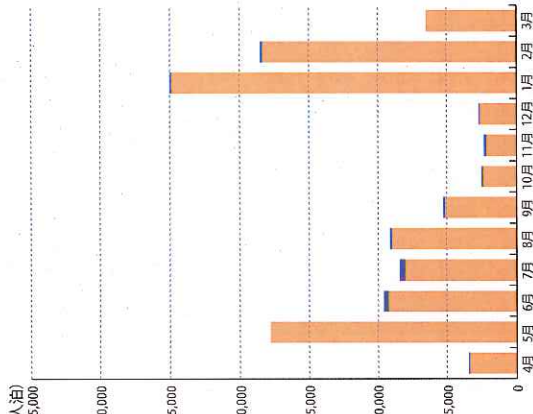
グラフ7 平成26年度 小学生 延べ宿泊者数



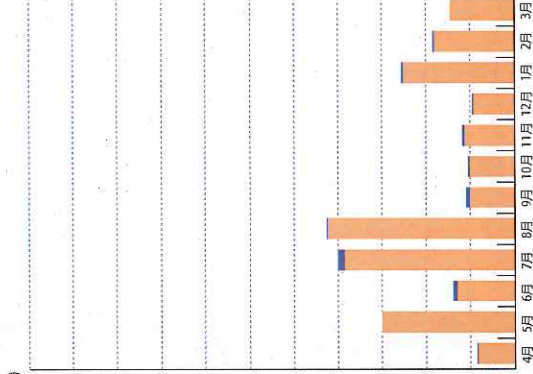
グラフ8 平成26年度 小学生 学校数



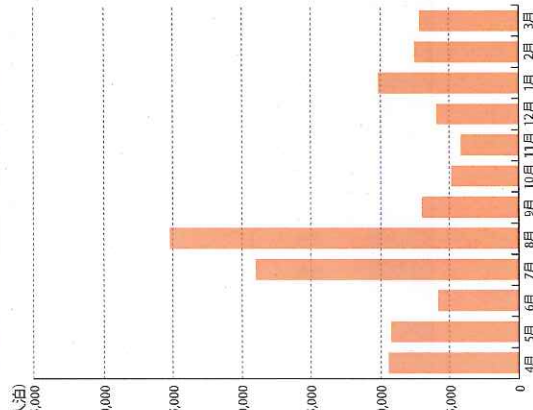
グラフ9 平成26年度 中学生 延べ宿泊者数



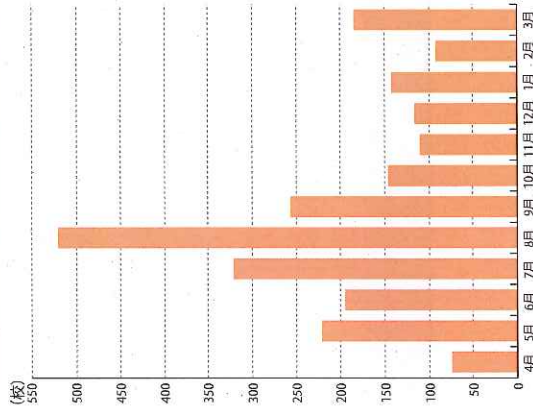
グラフ10 平成26年度 中学生 学校数



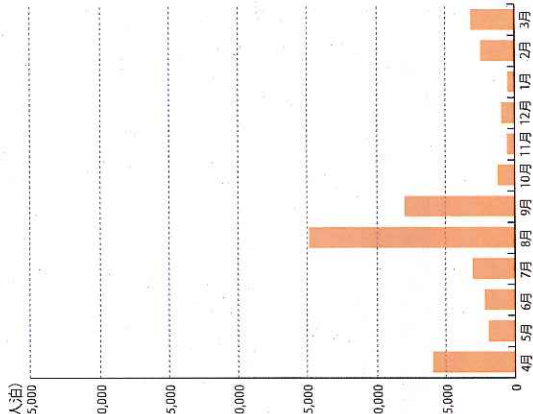
グラフ11 平成26年度 高校生 延べ宿泊者数



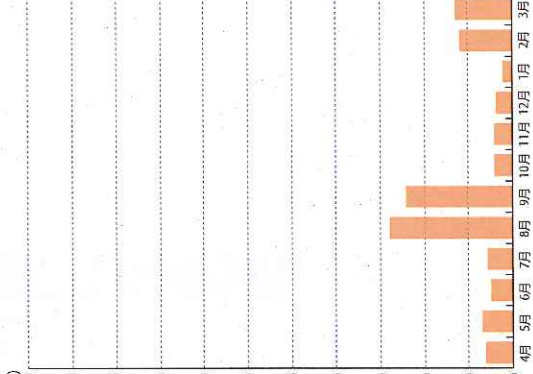
グラフ12 平成26年度 高校生 学校数



グラフ13 平成26年度 大学生 延べ宿泊者数



グラフ14 平成26年度 大学生 学校数



5 県内エリア別の教育旅行入込数の推移について

県内エリア別入込数の推移をみていくと、エリアごとに状況が異なっている事が分かります。震災及び原発事故により休廃業を余儀なくされている宿泊施設も多く、また、復興関係の作業員の受け入れを行っている施設もあることなどから、一概に入込数だけで教育旅行の受け入れ状況を判断することはできませんが、これらのデータを踏まえ、各地域の実状に対応した取り組みを行っていく必要があります。

表6 県内エリア別の入込数一覧

		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		前年度比 伸び率		平成21年度/ 平成26年度比	
		人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数	人泊数	学校数
県北	県内	18,395	761	16,349	632	8,181	339	12,754	440	10,988	445	8,896	282	▲19.0%	▲36.6%	48.4%	37.1%
	(ふくしまっ子事業含む)					(8,181)	(339)	(12,765)	(441)	(10,988)	(445)	(8,896)	(282)	(▲19.0%)	(▲36.6%)	(48.4%)	(37.1%)
	県外	55,698	660	34,127	387	3,406	130	5,754	212	14,613	455	15,308	495	4.8%	8.8%	27.5%	75.0%
	合計	74,093	1,421	50,476	1,019	11,587	469	18,508	652	25,601	900	24,204	777	▲5.5%	▲13.7%	32.7%	54.7%
	(ふくしまっ子事業含む)					(11,587)	(469)	(18,519)	(653)	(25,601)	(900)	(24,204)	(777)	(▲5.5%)	(▲13.7%)	(32.7%)	(54.7%)
県中	県内	31,496	574	21,486	594	7,960	308	15,380	639	19,604	598	17,334	584	▲11.6%	▲2.3%	55.0%	101.7%
	(ふくしまっ子事業含む)					(9,597)	(329)	(18,403)	(690)	(22,901)	(660)	(20,963)	(654)	(▲8.5%)	(▲0.9%)	(66.6%)	(113.9%)
	県外	61,228	712	53,240	614	13,999	159	34,229	439	34,881	482	38,347	627	9.9%	30.1%	62.6%	88.1%
	合計	92,724	1,286	74,726	1,208	21,959	467	49,609	1,078	54,485	1,080	55,681	1,211	2.2%	12.1%	60.1%	94.2%
	(ふくしまっ子事業含む)					(23,596)	(488)	(52,632)	(1,129)	(57,782)	(1,142)	(59,310)	(1,281)	(2.6%)	(12.2%)	(64.0%)	(99.6%)
県南	県内	12,077	154	11,024	127	13,716	145	7,235	323	5,720	142	12,034	150	110.4%	5.6%	99.6%	97.4%
	(ふくしまっ子事業含む)					(19,032)	(189)	(21,383)	(479)	(19,573)	(282)	(26,470)	(306)	(35.2%)	(8.5%)	(219.2%)	(198.7%)
	県外	69,227	428	59,331	339	4,029	51	14,311	180	19,294	169	30,011	265	55.5%	56.8%	43.4%	61.9%
	合計	81,304	582	70,355	466	17,745	196	21,546	503	25,014	311	42,045	415	68.1%	33.4%	51.7%	71.3%
	(ふくしまっ子事業含む)					(23,061)	(240)	(35,694)	(659)	(38,867)	(451)	(56,481)	(571)	(45.3%)	(26.6%)	(69.5%)	(98.1%)
会津	県内	39,876	590	39,855	930	21,068	440	46,007	728	59,305	931	43,911	832	▲26.0%	▲10.6%	110.1%	141.0%
	(ふくしまっ子事業含む)					(30,144)	(550)	(69,650)	(1,029)	(78,134)	(1,190)	(61,877)	(1,097)	(▲20.8%)	(▲7.8%)	(155.2%)	(185.9%)
	県外	248,339	1,845	259,029	2,198	16,220	216	43,454	471	95,260	857	102,762	897	7.9%	4.7%	41.4%	48.6%
	合計	288,215	2,435	298,884	3,128	37,288	656	89,461	1,199	154,565	1,788	146,673	1,729	▲5.1%	▲3.3%	50.9%	71.0%
	(ふくしまっ子事業含む)					(46,364)	(766)	(113,104)	(1,500)	(173,394)	(2,047)	(164,639)	(1,994)	(▲5.0%)	(▲2.6%)	(57.1%)	(81.9%)
南会津	県内	5,048	73	1,752	53	1,556	49	883	26	807	24	1,317	20	63.2%	▲16.7%	26.1%	27.4%
	(ふくしまっ子事業含む)					(1,556)	(49)	(1,245)	(35)	(1,097)	(28)	(1,452)	(22)	(32.4%)	(▲21.4%)	(28.8%)	(30.1%)
	県外	76,064	427	66,699	324	40,583	193	49,337	212	43,852	194	56,070	303	27.9%	56.2%	73.7%	71.0%
	合計	81,112	500	68,451	377	42,139	242	50,220	238	44,659	218	57,387	323	28.5%	48.2%	70.8%	64.6%
	(ふくしまっ子事業含む)					(42,139)	(242)	(50,582)	(247)	(44,949)	(222)	(57,522)	(325)	(28.0%)	(46.4%)	(70.9%)	(65.0%)
相双	県内	23,554	527	15,292	389	44	2	276	15	1,245	58	1,299	58	4.3%	0.0%	5.5%	11.0%
	(ふくしまっ子事業含む)					(44)	(2)	(276)	(15)	(1,245)	(58)	(1,299)	(58)	(4.3%)	(0.0%)	(5.5%)	(11.0%)
	県外	38,510	614	24,317	417	192	6	536	16	1,388	50	639	22	▲54.0%	▲56.0%	1.7%	3.6%
	合計	62,064	1,141	39,609	806	236	8	812	31	2,633	108	1,938	80	▲26.4%	▲25.9%	3.1%	7.0%
	(ふくしまっ子事業含む)					(236)	(8)	(812)	(31)	(2,633)	(108)	(1,938)	(80)	(▲26.4%)	(▲25.9%)	(3.1%)	(7.0%)
いわき	県内	23,281	462	58,723	541	858	33	7,950	279	7,978	285	14,063	503	76.3%	76.5%	60.4%	108.9%
	(ふくしまっ子事業含む)					(1,005)	(35)	(8,528)	(286)	(8,977)	(306)	(15,270)	(532)	(70.1%)	(73.9%)	(65.6%)	(115.2%)
	県外	7,139	93	12,688	102	195	3	2,042	62	3,683	86	8,713	161	136.6%	87.2%	122.0%	173.1%
	合計	30,420	555	71,411	643	1,053	36	9,992	341	11,661	371	22,776	664	95.3%	79.0%	74.9%	119.6%
	(ふくしまっ子事業含む)					(1,200)	(38)	(10,570)	(348)	(12,660)	(392)	(23,983)	(693)	(89.4%)	(76.8%)	(78.8%)	(124.9%)
施設名不明	県内					363	6										
	県外					75	2										
	合計					438	8										
合計	県内	153,727	3,141	164,481	3,266	53,746	1,322	90,485	2,450	105,647	2,483	98,854	2,429	▲6.4%	▲2.2%	64.3%	77.3%
	(ふくしまっ子事業含む)					(69,922)	(1,499)	(132,250)	(2,975)	(142,915)	(2,969)	(136,227)	(2,951)	(▲4.7%)	(▲0.6%)	(88.6%)	(94.0%)
	県外	556,205	4,779	509,431	4,381	78,699	760	149,663	1,592	212,971	2,293	251,850	2,770	18.3%	20.8%	45.3%	58.0%
	合計	709,932	7,920	673,912	7,647	132,445	2,082	240,148	4,042	318,618	4,776	350,704	5,199	10.1%	8.9%	49.4%	65.6%
	(ふくしまっ子事業含む)					(148,621)	(2,259)	(281,913)	(4,567)	(355,886)	(5,262)	(388,077)	(5,721)	(9.0%)	(8.7%)	(54.7%)	(72.2%)

6 おわりに

福島県の教育旅行は調査開始の平成10年度より年々増加し、最盛期の平成19年度には延べ宿泊人数が747,549人となりました。しかし、平成20年度から減少に転じ、平成23年度には東日本大震災及び福島第一原発事故に起因する風評被害などの影響もあり、132,445人と最盛期の2割弱まで減少しました。震災から4年6か月が経過し、復興の進捗とともに平成26年度は350,704人と回復してきているものの、最盛期の平成19年度と比較すると5割弱の水準となっており、依然として厳しい状況にあります。

こうした中、着実に明るい話題も増えています。震災後、福島県以外に教育旅行先を変更した学校が再び来県するケースが増加しており、隣接県である宮城県の小学校では、会津地方のアクセスの良さや高い教育効果を求め、本県に教育旅行先を戻す動きが見られます。

また、民間と行政が連携して学校や旅行会社を訪問する誘致活動などの効果も現れてきており、九州の高校からはスキーを始めとする雪国体験を目的とした修学旅行を中心に、来県学校数が震災前を上回るなど、着実な回復が見られます。

このような福島県で教育旅行を実施した学校の中には、自然学習や歴史学習に加えて震災を経験した福島県の特性に着目し、震災・防災学習の行程を取り入れているほか、学校同士や地域との交流を図る取組も見られるようになりました。

震災・防災学習には、被災地視察や「語り部」による津波被害についての話、原発事故による避難生活や体験談などを聞くことも含まれ、さらに学校や地域との交流の中で「人とのつながり」についても学ぶ契機となっており、道徳的な学習効果も期待されています。

さらに、実際に震災・防災学習を経験した生徒からは、「メディア等の情報で得ていた福島のイメージが変わった」「現地にきて初めて学び・感じたことが多かった」などの意見を数多く聞くことができ、テレビや新聞では知り得ない「福島の今」を知ってもらうきっかけとなっています。

福島県は豊かな自然や文化・歴史等、多くの魅力的なコンテンツを有し、多数の教育旅行を受け入れてきました。また、震災による津波被害や原発事故など、大きな困難に直面してきた福島県だからこそ学ぶことができる教育旅行コンテンツが多数生まれており、県でも、平成25年度から教育旅行語り部の育成に取り組むなど、新たな魅力づくりに積極的に取り組んでいます。

震災から4年6か月が経過し、福島県は復旧・復興に向けて着実に進んでいますが、県外学校の保護者会などでは、一部の保護者等から放射線への強い不安が示されるなど、いまだに風評は根強いものがあります。

今後とも、本県を訪れる学校の意見などをいかした戦略的な取組を進めてゆくとともに、教師や保護者等に対する本県の現状と安全性についての正しく、粘り強い情報発信、本県が従来から有している豊富な教育旅行コンテンツや新たな魅力のPR、さらには、教育旅行先として福島を選んでいただくためのバス経費や合宿助成など、総合的な取組を進めてまいります。

引き続き、県内の教育旅行関係者の皆様の御協力をお願い申し上げます。

福島県観光交流局観光交流課

〒960-8670
福島県福島市杉妻町2-16
TEL: 024-521-7398 FAX: 024-521-7888
Mail: tourism@pref.fukushima.lg.jp

公益財団法人福島県観光物産交流協会

〒960-8053
福島県福島市三河南町1-20 (コラッセふくしま7階)
TEL: 024-525-4024 FAX: 024-525-4087
Mail: tabiiku@tif.ne.jp

「ふくしま教育旅行」 <http://www.tif.ne.jp/kyoiku/>